

公共下水道施設工事完成届

届出日を記入

令和 7 年 9 月 30 日

明石市公営企業管理者 様

申請者 住所 明石市本町〇丁目〇〇番〇号
氏名 株式会社 〇〇開発
電話 078-000-0000
担当 氏名 明石 太郎
携帯電話 090-000-0000

代理人 フリガナ 氏名 有限会社 〇〇設計 (担当 タナカ 田中)
電話 090-000-0000

施工者 フリガナ 氏名 株式会社 大久保建設 (担当 ひょうご 兵庫)
電話 090-000-0000

令和 7 年 4 月 5 日付承認番号第 7 - 00 号で承認された工事について、完成しましたので提出いたします。 ※太枠内のみ記入

工事箇所	明石市			
施工内容	☒ 本管 (取付含む) (☐ 汚水 ☐ 雨水) ☐ 取付管のみ (☐ 汚水 ☐ 雨水) ☐ 接続のみ ☐ 用地 ☐ 雨水調整池 ☐ 撤去 ☐ 公共 ☐ その他 ()			
工事完了日	令和 7 年 9 月 30 日			
添付書類	①必ず添付する書類 (下記の順番に書類を添付すること) ☒ 1) 譲渡施設 (確定) ☒ 2) 自主検査チェック一覧 ☒ 3) 位置図 (A4 縮尺 1/1500 程度) ☒ 4) 竣工図 (平面・縦断・横断図、舗装図) ☒ 5) 下水道台帳図 (施工箇所を赤色着色) ☒ 6) 工事写真 (写真撮影要領に基づき作成) ②必要に応じて添付する書類 ☒ 7) マンホール配置記録表及び写真 ☐ 8) 誓約書 ☐ 9) 竣工図の PDF データ (図面サイズが A3 より大きいとき) ☐ 10) その他本市が指示する書類 ()			
※事務処理欄		※決裁欄		
検査合格年月日	令和 年 月 日	上記の提出があり、検査の結果、合格と認めましたので、検査済証を交付してよろしいか。		
検査員				
☐ 検査日 (/) : ※連絡先 (☐ 申請者 ☐ 施工者 ☐ 代理人) ☐ 是正事項 ☐ 指摘事項なし ☐ 図面 (提出 /) ☐ 現場是正写真 (提出 /) ※完成検査後に提出する書類 ☐ 舗装 ☐ 看板 ☐ その他 () (提出 /)	課長	係長	係	
	合議 調整係長 (☐ 開発行為の場合)			
(備考)				

譲渡施設（確定）

※表の行は、必要に応じ追加・削除してください

※欄の幅・高さも必要に応じ、変更していただいて構いません

下表のとおり、公共下水道施設を無償譲渡します。なお、施設を市に譲渡した日（検査済証発行日）から2年（故意又は重大な過失があった場合は10年）の期間において、本工事による不備が発生した場合は、申請者（又は施工者）の責任で是正します。

譲渡施設	種 類	確定数量	備考
本管	記載例) 汚水・V U・ ϕ 250	10.1m	少数第1位
	汚水・V U・ ϕ 200	m	
	雨水・V U・ ϕ 350	m	
		m	
		m	
人孔	記載例) 1号、2号、特殊、1号楕円、小型塩ビ	2箇所	
	汚水・1号	箇所	
	汚水・楕円	箇所	
	雨水・1号	箇所	
取付管	記載例) 汚水・V U・ ϕ 150	2箇所	
	汚水・V U・ ϕ 150	箇所	
	汚水・V U・ ϕ 200	箇所	
用地	管理用地（大久保町八木〇〇番〇号） フェンスH：1.8m L=32.8m	m ²	登記（予定）面積
その他	雨水調整池 A=300 m ² 容量 Q=450 m ³	一式	

完成届提出時は記入しないでください

各施設の埋設位置等は完成届に添付する竣工図を参照。確定数量は、市の完了検査後に市の指示により記載すること。

譲渡日 年 月 日 （16条承認番号 ー ）

※譲渡日は検査証発行日とする。

自主検査チェック一覧

記載例

No	項目	注意点	チェック欄				備考
			施工者	図面	写真	現場	
1 管布設							
-1	延長は人孔中心間としているか？		☒	☐	☒	☐	①延長の誤差は協議不要
-2	管勾配は適切か？	①滞留がないか？ ②管路の通り(水平、鉛直)は適切か？ ③管基礎の転圧は適切か？ ④枕(枕木、土のう)は使用しない ⑤5%未満の場合は、承認した勾配が確保できているか？	☒	☒	☒	☐	【写真】 変位確認、管基礎・埋戻し転圧状況
-3	不要な管は撤去したか？また、竣工図に撤去管を図示したか？	①管種・口径・延長を図示すること	☒	☒	☐	☐	【写真】 撤去状況、管口閉塞
2 取付管							
-1	箇所数に変更はないか？		☒	☐	☐	☐	変更の場合は、事前に要協議
-2	延長は管中心から敷地境界までとしているか？	①延長は少数第1位止めとする	☒	☐	☒	☐	①延長の誤差は協議不要
-3	勾配は適切か？	①滞留がないか？ ②管路の通り(水平、鉛直)は適切か？ ③自在曲管下部の転圧は適切か？ ④枕(枕木、土のう)は使用しない	☒	☒	☒	☐	【写真】 変位確認、管基礎・埋戻し転圧状況
-4	支管は番線固定したか若しくは固定ツメタイプの場合は締め込み位置が正常か？隣接との離隔は1.0m以上を確保しているか？		☒	☒	☐	☐	【要写真】番線固定 【要写真】締め込み状況 ※固定ツメタイプの場合
-5	不要な管は撤去したか？また、竣工図に撤去管を図示したか？	①管種・口径・延長を図示すること	-	-	-	-	【要写真】撤去状況、管口処理
-6	最終樹の深さ、蓋の仕様は適正か？	①排水設備技術基準に準じているか？ ②宅内排水設備は接続可能か？	☒	☐	☒	☐	①深さが1.5m以上の場合は樹口径注意
-7	明示鉢を設置したか？		☒	☐	☒	☐	汚水、合流の場合
3 人孔							
-1	蓋の仕様・蝶番の位置は適切か？	①道路勾配6%以上、又は、交差点部は耐スリップ蓋とすること ②蝶番の位置 ・デザイン：子午線向きと方位磁針を一致 ・耐スリップ：坂道の場合は上手、交差点の場合はステップ上部	☐	☐	☒	☐	
-2	適切な箇所に転落防止梯子を設置したか？	①雨水は、全てに設置 ②汚水は、深さ2.0m以上の箇所に設置	☒	☐	☒	☐	
-3	調整ブロックは2枚以上としたか？		☒	☐	☒	☐	
-4	ボルトは斜壁に定着しているか？		☐	☒	☐	☐	【要写真】Co防護
-5	受枠の無収縮モルタルは充填されているか？		☐	☒	☒	☐	【要写真】充填状況
-6	人孔深、管底高の記載は適切か？		☒	☐	☒	☐	
-7	インバートに滞留はないか？		☐	☒	☒	☐	【要写真】流下状況
-8	管接続部の可とう管、Co防護は適切か？		☒	☒	☐	☐	【要写真】Co防護
-9	削孔離隔(外側)は10cm以上あるか？		☐	☐	☒	☐	
-10	副管は適切に施工したか？	承認図通りに施工したか？	-	-	-	-	
4 舗装							
-1	範囲、厚みは適正か？	復旧範囲、路盤・舗装厚は適正か？	☐	☒	☒	☐	【要写真】乳剤散布、厚み計測
5 管理用地							
-1	境界杭は設置したか？		☒	☒	☒	☐	【要写真】設置状況
-2	看板のサイズ、文字は、承認通り設置できているか？	看板のサイズ、記載内容、設置位置、固定方法について、事前に承認を得ること	☒	☒	☒	☐	【要写真】看板拡大
-3	看板の設置位置・固定方法は、承認通りに設置できているか？		☒	☒	☒	☐	【要写真】設置状況
6 社内検査							
-1	図面、写真が適切に作成できているか検査し、申請者に報告したか？	社内検査(書類、現地)、是正作業の状況写真を完成届に添付すること	☒	☒	☒	☐	【要写真】書類確認状況
-2	現地が図面通り完成していることを確認したか？		☒	☒	☒	☐	【要写真】現場検査状況

令和 7 年 9 月 30 日

上記項目について、社内検査を行い図面、写真、現地が適正であることを確認しました。

確認者(施工者)のサイン

(会社名)

㈱大久保建設

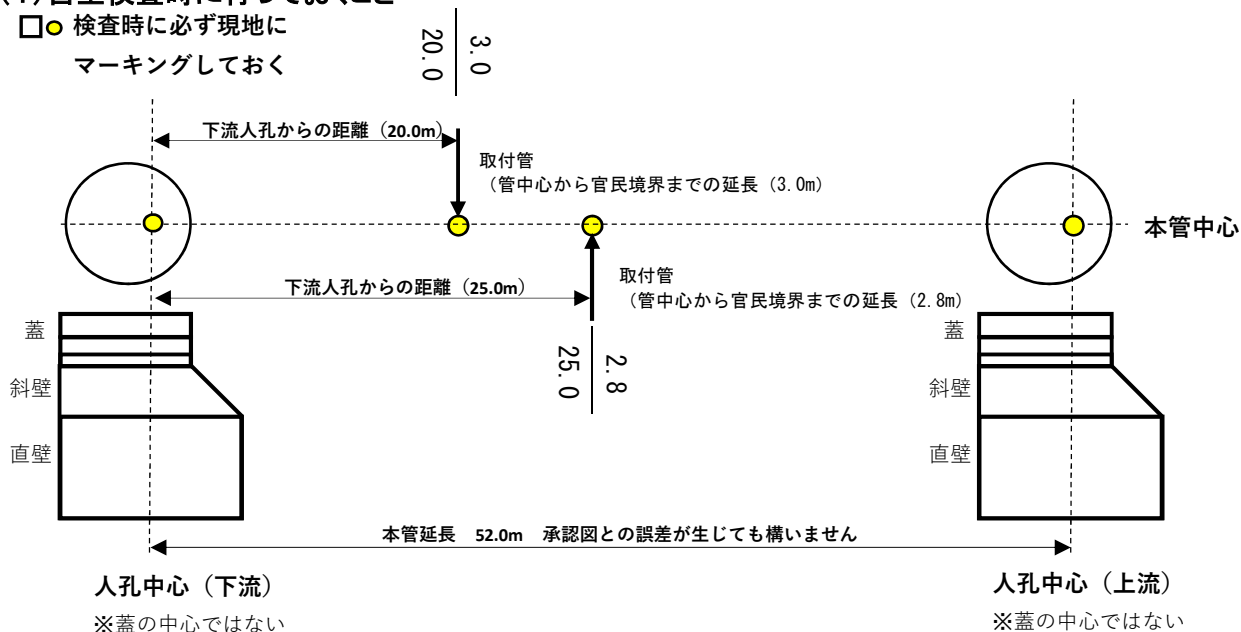
(担当者)

兵庫 次郎

完成検査の準備

(1) 自主検査時に行っておくこと

- ☐ ● 検査時に必ず現地に
マーキングしておく



(2) 完成検査当日の段取り

検査予定時刻の15分前には次の準備を整えて、検査員の到着を待つこと。

- ☐ ①施工者は、検査に必要な人員を配置すること。
- ☐ 車道で検査を行う場合は、必要な交通誘導員を配置すること。
 - ☐ 本管検査の場合は、最低3名の人員を配置すること。
 - ☐ 取付管検査の場合は、最低2名の人員を配置すること。
 - ☐ 本管と取付管の両方を同時に検査する場合は、最低5名の人員を配置すること。
- ☐ ②施工者は、検査開始時に検査員用に2枚（申請者控えは別途）の竣工図を用意すること。
- ☐ ③施工者は、検査に必要な以下の用具等を準備すること。
- ☐ 通水用の水（目安：本管1杯/15m、取付管1杯/5箇所） ※タンク1杯は18ℓ
 - 例. 本管30m、取付管10箇所の場合は、最低4杯をご用意ください
 - ☐ 鏡、懐中電灯、MH・最終柵の蓋開閉用具、巻尺（50m以上）、コンベックス（5m以上）、スタッフ（人孔深計測）

よくある手直し事例

No	内容	注意事項
1	本管・取付管の通り（勾配、水平・鉛直変位）が一樣でない（滞留など） 【主な発生原因】 ①管の保管状況が適切でない（管の変形） ②設置時の高さ・変位管理の不備（勾配不足、たるみ） ③設置時に枕（枕木、土のう）を使用した（たるみ） ④管基礎の転圧不足（たるみ） ⑤地下埋設物近接部の転圧不足（たるみ）	・発生原因対策を適切に行い、これを示す写真を撮影し完成届に添付してください。 ・管布設、埋戻し後に通水試験をして、適切に設置完了していることを確認してください。 ・維持管理上問題があると判断された場合（特に勾配が5%未満の場合は注意）は、舗装後であっても手直し対象となります。
2	取付管設置における最終柵及び自在曲管の滞留 【主な発生原因】 ①設置時の高さ・変位管理の不備（勾配不足、たるみ） ②管基礎の転圧不足（たるみ）	・発生原因対策を適切に行い、これを示す写真を撮影し完成届に添付してください。 ・管の維持管理上問題があると判断された場合（特に勾配が1%未満の場合は注意）は、舗装後であっても手直し対象となります。
3	取付管設置時における近接支管との間隔不足 【主な発生原因】 ①近接支管の位置確認を怠った	・事前に台帳や隣地の状況を確認し1.0m以上を確保する。また、1.0m未満の場合は、事前に市と協議する。 ・施工時に他の地下埋設物があるなど、1.0m以上の確保が困難になる場合は、事前に市と協議する。
4	基礎材に山砂を使用した ※明石市は、水砕スラグor海砂を指定 【主な要因】 ①他市で山砂を使用しているの、使用してしまった ②承認図面を確認していなかった	・必ず承認図面を確認して施工するようにしてください。 ・使用した山砂の粒径、管勾配、施工状況等により、維持管理上問題があると判断された場合は、舗装後であっても全線（本管・取付管）手直し対象となります。
5	本管・取付管延長の計測・記載間違い 【主な要因】 ①本管の延長は、「人孔中心間の延長」であることを知らず、蓋中心間の延長を計測してしまった。 ②取付管の延長は、「本管中心から官民境界までの延長」であることを知らず、本管中心から柵中心までの延長を計測してしまった。	・必ず承認図面、チェック一覧を確認して延長管理してください。

16条工事に伴うマンホール設置記録表

※新設したマンホール毎に本表と写真（舗装完了後）を作成し、出力して完成届に添付してください。

サンプル

 に入力（サンプル消去） は必ず選択

記録年月日	2025年9月20日	人孔毎に確認してください	
16条承認番号	7-00	マンホールNo	1
流入系統（浄化センター）	大久保浄化センター	排除方式	
設置場所	市道	道路区分	車道
舗装種別	アスファルト	副管の有無・種別	副管なし
蓋形式	デザイン	蓋耐荷重(t)	25
鋳出年	2025	転落防止梯子	なし
形状寸法	φ600	材質	FCD
マンホール種別	組立1号	マンホール深(m)	1.60
上流側本管土被り(m)	1.30	下流側本管土被り(m)	1.40
ステップ本数(本)	6		

平面図

断面図

	番号	管種・径
下流方向	①	VU・150

		h (mm)
無収縮Mo	A	30
調整リング	B	50
調整リング	C	50
斜壁・床板	D	600



16条承認番号
7-00

マンホールNo,
1

全景

周囲の景色



蓋裏

耐荷重・鋳出表示等



人孔内

蝶番形状・タラップ数等

令和 7 年 9 月 30 日

誓 約 書

明石市公営企業管理者 様

申請者

住 所 明石市本町〇丁目〇〇番〇号
氏 名 株式会社 〇〇開発
電 話 078-000-0000

施工者

住 所 明石市大久保町八木〇〇番〇号
氏 名 株式会社 大久保建設
電 話 078-000-0000

承認番号 7 - 〇〇、明石市 大久保町八木〇〇番〇号 の公共下水道施設
の施工について、以下のことを誓約します。

記載例 1

ご承認いただいた上記工事において、舗装復旧工の検査が完了していませんが、下水道施設を使用開始したいため検査済証の発行をお願いします。なお、舗装復旧工は概ね2週間以内に完了を予定しており、完了次第、写真等必要書類を提出します。

記載例 2

ご承認いただいた上記工事において、管理用地の看板・鍵のが未設置となっており、完成検査時に設置の指示を受け、概ね2週間程度で設置完了を予定していることから、検査済証の発行をお願いします。なお、完了次第、写真等必要書類を提出します。